

(別表) 評価基準

審査項目	審査の視点	配点
1. 委託業務の内容・実施方針等 (満点 30 点)		30
授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語能力の向上が見込める授業に用となっているか。 ・講義のフォローアップや課題を課す等で研修効果の定着が期待できるか。 ・実施方針に業務成果を高めるための工夫が見られるか。 	30
2. 委託業務の運営 (満点 20 点)		20
授業の運営	<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン上の運営フォーマットは、日本語初学者である受講者が受講しやすいよう工夫されているか。 ・適切な講師を配置可能か。(日本語教師資格保有者、オンライン授業経験者であるか。) ・佐賀県の地域事情に詳しい者を講師又は運営関係者として配置する計画があるか。 	20
3. 組織の体制 (満点 50 点)		50
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・過去、組織として日本語教育の実績はあるか。 ・過去、オンラインで類似事業を実施した実績があるか。 ・日本語教育についての知見は充分か。 	15
体制	<ul style="list-style-type: none"> ・進捗・実施状況について、適切に県と報告や調整ができる体制があるか。 ・人員の確保は十分と思われるか。(人員の確保に資するネットワークを有しているか。) ・多言語での対応体制が整っているか。 	15
工程	<ul style="list-style-type: none"> ・業務成果の達成のために、効率的な日程、作業手順などを示しているか。 	10
経費	<ul style="list-style-type: none"> ・見積金額の内訳は不自然でないか、安価であるか。 	10
合計		100

※注意：最低基準点は審査員の評点の合計点の6割とする。(100点×3名×60%=180点)